

令和元年度 大阪府立福井高等学校 第1回 学校運営協議会 議事録

日時 令和元年6月12日(水) 14:30~16:00

場所 本校 校長室

【校長挨拶】

- ・入学者、地元支えられ持ちこたえているが、厳しい状況が続いていると認識している。
- ・1年生で進級できなかった生徒が多数いる状況について厳しく感じている。
- ・基礎固めが必要な生徒に対応する一方、大学を希望する生徒に対しても、一定程度の学力保障が必要。
- ・より生徒の実状とニーズに合わせた教育課程の改定を検討中。

【運営協議会委員・事務局員紹介】

- ・永田委員→委員長、米澤委員→副委員長 でした承。

【①学校経営計画について】

- ・多様な生徒に対する、地域とのつながりを大切にした学校作りが目標。
- ・特別枠入試を良い方向にもっていく努力をすると共に、総合学科の特色を生かしたい。
- ・エンパワーメントスクールとの住み分けのため、大学入試の看板は下ろさない。
- ・ドリカム授業を中心として、キャリアを考えながら、進路に繋げるようにしたい。
- ・生徒指導と生徒支援のバランスをとった指導をおこなっていききたい。
- ・教員の勤務時間と仕事内容のバランスをとりながら頑張りたい。
- ・生徒会・部活動を地域の活動に呼んで、生徒たちが褒められる機会を作って欲しい。

【②入学者・退学者について】

- ・入学者が217名で、倍率が0.9倍であった。もっと魅力を発信できればと考えている。
- ・退学者数は、27名 転学数は36名であった。

【③入学者の状況について】

- ・茨木市から7割、地元8中学からは5割で少し減っている。
- ・交通の便が悪いためか、大阪市内から生徒が3名と少ない点が近隣他校と違う。

【④新入生アンケートより（全体像）】

- ・「魅力ある」と答えた生徒が46%と下がってきているのが実情。
- ・自由記述で、「楽しい。明るい。良い。」がある一方、「うるさい。怖い。派手。」という回答もあった。
- ・「英語が苦手」が増え、国際交流への意識が薄くなっている。多文化交流を体験する場を提供したい。
- ・「科目選択が面倒くさい…」という生徒が増えている。基礎学力の定着を図り、自己肯定感を高めたい。

【①~④に関するご意見・ご質問】

- ・高校の魅力とは？中学生に聞いても「別に…さあ。成績がこんなものだから、ここにした」が多い。
- ・学校の財産は地元で活躍している卒業生であり、先輩の頑張りを発信するのが良いのではないかと？
- ・「福井高校に行ったら、これががんばれるんや」という目的を持たせることができたい。

【⑤生徒指導の状況について】

- ・現在、重点的に行っているのが、自転車・遅刻・頭髪。
- ・1年生の指導に、日々奔走している。
- ・ここ数年、特別枠の生徒とそれ以外、また特別枠の中でのトラブルが起こっている。

【⑥特別活動に関して】

- ・部活動の入部率が、2年生が38%、1年生が40%と、残念ながら右肩下がり。
- ・新規で、男子バレー同好会が始まった。
- ・体育祭について、安全面や担任が生徒とコミュニケーションをとれるように工夫した。

【⑦進路状況について】

- ・部活動の入部率が、2年生が38%、1年生が40%と、残念ながら右肩下がり。

【⑧人権教育方針および計画について】

- ・昨年度の取り組みの紹介：1年「性と恋愛HR」、2年「障がいとは何か」、3年「奨学金」
- ・教職員研修については、総合学科の先輩、松原高校の内容を聞いた。

【⑨多文化共生について】

- ・2年生は16名、一般受験で特別枠の生徒が多数入ってきて、予想以上に外国ルーツの生徒がいる。
- ・彼らにしかできない活動で、活躍しており、英検などは素晴らしい成績。進路実績も上げている。

【⑤～⑨に関するご意見・ご質問】

- ・18歳で選挙権・契約の件について、高校の在籍中に取り組みが必要では？
→ 投票の推進については、取り組みたい。
- ・文化的なもの、身近なもので発信できないのか？
→ パンフレットの間に、卒業生の活躍を書いたチラシを挟むなども検討する。
- ・「福井高校に行ってもいいことあるの？」と聞かれたときに、メリットがハッキリしていると良い。
→ 英語検定1級が取れるような体制が作れないか検討中。
特別枠生徒を巻き込んだ「イングリッシュカフェ、チャイニーズカフェ」なども模索中。

【⑩地域連携・広報について】

オープンスクールの参加者が、持ち直している。

今年度は、第1回を1か月後ろにずらしたのだが、どう影響するかはわからない。

特別枠の生徒にどんどん外で活躍して自信をつけてもらいたいと考えている。

学校説明会も積極的に参加しようと増やしている。

【⑩に関するご意見・ご質問】

- ・放課後、子供教室のボランティアに、福井高校の生徒が3名来ている。助かっている。
- ・特別枠生徒の「母語と日本語が中途半端になってしまう」ことが心配。
→ 本当にノーリンガルのような生徒も存在する。学校でも、そこに悩んでいる。
- ・自転車に乗るマナーが悪い。事故があると大変。
→ 地域の人が、授業に入っていただく機会を作ればと思っている。
地域との繋がりができれば、生徒が地域の目を考えるようになるかもしれない。
- ・福井小学校での8月25日の「ふれあい祭り」に例年通り「ダンス部と吹奏楽部」に出演して欲しい。
また、11月10日の展示会があるので、美術系の作品展示も依頼したい。

次回、11月15日 14時～ （6限目の授業見学を行う）